

参加費無料
要申込



はじめての100か月の育ちビジョン@港北区版 2024年度 活動報告会

この100か月を逃すな！ みんなでつくる こどもと地域の未来

こども家庭庁は「はじめての100か月の育ちビジョン」を打ち出し
妊娠期～就学前のおよそ100か月のこどもの育ちとその大切さを
これからの日本において共通の理念にしていこう！と発信を行なっています。

びーのびーのとアクションポート横浜は、この理念の普及啓発のため
「はじめての100か月の育ちビジョン地域コーディネーター養成事業」モデル団体
として1年間活動してきました。

こどもと接点を持つさまざまな分野に働きかけてきた
活動の全容をご報告するとともに、第2部では、その中でも特に
「乳幼児とのふれあい体験事業」に着目し、
地域の未来の展望をみなさんと描いていきたいと思ひます。

今回の報告会では、地域の未来そのものである
地域コーディネーターの皆さんが中心となって、1年間の活動をお伝えします。



2025年 **3月13日(木)** (開場14:45) 15:00～17:00

横浜市港北区民文化センターミズキーホール 4FギャラリーA
(港北区綱島東1-9-10新綱島スクエア4・5F)

定員：会場・オンライン 各先着50名
※対面、オンライン配信とのハイブリッド開催です

お申し込みはこちらの
二次元バーコードから
お願いいたします



3月7日(金)締切



地域コーディネーターの皆さん



第1部 コメンテーター

NPO法人グリーンバプロジェクト代表理事
こども家庭庁 幼児期までのこどもの育ち部会委員

吉田 大樹 さん

【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人びーのびーの事務局
TEL：045-540-7422 (平日9:00~17:00)



第1部 15:00～16:00

「はじめの100か月の育ちビジョン」@港北区版 『ビジョン』の説明&活動報告

『人生の根っことなる、妊娠期から小学校1年生までの
はじめの100か月の時期を、どの子ども幸せに過ごしてほしい』
そんな思いで集まったのが、

はじめの100か月の育ちビジョン地域コーディネーターです。

そのバックグラウンドは実に様々。

学生・会社員・子育て支援ボランティア・子育て真っ只中の当事者など。

ああでもない、こうでもない話し合いながら、

産前産後のおうち・赤ちゃんとのふれあい体験・ハマハグ・こども食堂

といった主に4本の活動を通して、

こどもと地域の未来をみんなで広めてきました。

その実践と思いをお伝えします。

第2部 16:00～17:00

「乳幼児とのふれあい体験事業の価値とこれから」

①区内に拡がり深まってきたふれあい体験活動のあらまし

②パネルディスカッション

- 教育現場から 山村正子さん (横浜市立大綱中学校家庭科教諭)
- 地域協力者から 横溝真弓さん (樽町地区主任児童委員)
- 乳幼児家庭協力者から 小嶋浩教さん
- 地域コーディネーターから 堀口卓司さん
- ファシリテーター 高城芳之 (NPO法人アクションポート横浜代表)



ふれあい体験の様子